

## 山形県青少年育成県民会議

～5月27日(火) 県庁講堂で総会開催～

会員、青少年育成団体の関係者約160名の出席のもと、青少年育成県民会議総会が開催されました。

はじめに、柳谷会長が、青少年の置かれている状況の変化を捉えて、実態にあった健全育成活動の必要性を訴えるとともに、「いじめ・非行をなくそう」やまがた県民運動の2年目の取り組みに期待すると挨拶、続いて、来賓の吉村県知事、県議会山科厚生環境常任委員長、長南県教育委員長が祝辞を述べました。

議事に移り、昨年度の事業報告と収支決算報告、今年度の活動方針や事業計画、収支予算、新役員などが承認されました。

～平成26年度重点事業～

### “いじめ・非行をなくそう” やまがた県民運動の展開

- ・市町村民会議等が実施する運動への支援
- ・「いじめ防止」標語の募集、周知
- ・高等学校・特別支援学校への運動の拡大

#### 【事業と予算】

1. 県民会議運営費  
7,935,000円
2. 県民運動総合推進事業  
5,319,000円
3. 地域社会環境づくり  
推進事業  
1,907,000円
4. 青少年育成広報啓発事業  
980,000円



県庁講堂での総会

## 県民会議では、新規会員を募集しています

現在、1,283人の方（団体）に会員として登録していただいておりますが、活動や、趣旨にご賛同・ご協力いただける方を募集しています。

#### ●会員の種類と会費

特別会員(一口3万円) 賛助会員(一口5千円)

団体会員(一口千円) 個人会員(一口千円)

詳しくは、最上地区青少年育成連絡協議会事務局までお問い合わせください。

【最上総合支庁子ども家庭支援課内】

TEL.29-1245 FAX.22-1311

## 若い力で元気な最上！

平成25年に、県内で、窃盗などの刑法犯で摘発された少年は249人で、過去最少となっています。これは10年前の半以下です。少子化の影響で青少年人口の減少とともに、関係機関・団体が、非行防止活動を推進し、自転車盗や万引きなど、街頭犯罪の抑止活動が効果をあげていると推測されています。とはいえ14歳未満で、刑法犯などの事件を起こした触法少年の数に大幅な増減はなく、県警では、非行少年の低年齢化が懸念されるとしています。

最上地区においても刑法犯で摘発される少年は減少していますが、14歳未満の触法少年の数はあまり変化はありません。

#### 県内の刑法犯少年の推移

H24年	294人
23年	387人
22年	451人
21年	520人
20年	510人
19年	380人
18年	482人
17年	629人
16年	879人
15年	802人

(県警少年課まとめ)

一方、県が昨年、民生・児童委員等にアンケート調査したところ、県内には引きこもり状態にある人が少なくとも1,607人にのぼることがわかっています。そのうち15歳から30代までが855人となっています。これらの結果を受け、県では、地域で若者が安心して生活できる環境づくりに向けて、総合的な若者支援体制の整備を図っています。

人口の減少化傾向は今後とも進み、併せて高齢者の占める割合も年々高くなっていきます。そんな中で、元気な若者の存在は地域を活性化するためには欠かすことのできないものです。最上地区では、積極的にボランティア活動に取り組んだり、スポーツや文化活動



において、優秀な成績を収めたりしている青少年が少なくありません。そんな青少年を、地域あげて応援したり、育成したりしていきましょう。

「どの子どもみんな地域の子、どの子どもみんな最上の子」